

# 札幌市が外食産業の海外進出を支援

シンガポール事務所

札幌市は8月28日から9月6日までシンガポール最大規模のショッピングセンターであるジュロンポイントにて「北海道グルメストリート」を開催し、ラーメンやスープカレーなどの実演販売を行いました。これらを現地で受け入れられる食味や価格などを知るためのテストマーケティングの場とすることで外食産業のシンガポールへの進出を目指します。

## 1 「北海道グルメストリート」

北海道の道都である札幌は190万人が暮らす大都市でありながら豊かな自然に恵まれ、新鮮な魚介やおしゃれなスイーツなど北海道ならではの食材を活かした美味しい食べ物が多数集まる「食の宝庫」です。その北海道が誇る「食自慢」の道内7つの飲食店が、「北海道グルメストリート」を開催しました。

各飲食店は今後の海外への店舗展開の可能性を検討するため、商品を提供し食味や価格、素材、量などが現地に受け入れられるかを検証しました。「売れたものが良いもの」と考え方を切り替え、トライ&エラーで現地の舌に合うようにアレンジしていくことが成功への近道と言えるでしょう。



夕方や週末は特に大賑わい

## 2 外食産業の海外進出を後押しする理由

北海道の飲食店による新鮮な素材を活かした質の高い味は海外の観光客より高い評価を得ています。他方、人口減少に転じる中で国内の市場は縮小傾向に向かうことから海外に活路を求める企業が増加傾向にあります。この取組はこうした道内企業のニーズに応えるべく、道内自治体や関係機関がスクラムを組んで外食産業の海外進出を後押しするものです。

札幌市では市内事業所数が最も多く北海道の魅力在海外へ発信する力が非常に大きい「飲食業」について、道内の自治体等と連携して海外進出の支援を積極的に行っています。担当者は「外食産業が海外に進出していくことで企業の体力が向上し、結果として道産食材の輸出につながるとともに、進出した店舗が海外での広告塔の役割を果たし、観光インバウンドにも効果がある。」と語りました。



ひときわ興味をひいた「忍者麺」

(佐々木所長補佐 札幌市派遣)